

「一人一人のよさ・可能性を最大限に伸ばし、健やかで主体的に学び続ける児童生徒が育つ学校に」

～ “SMILE” 人としての根幹 ～

本校は、昭和33年に開校した北海道で最も歴史のある特別支援学校知的障がい教育校です。開校当初は、札幌市白石区に校舎を置いていましたが、平成4年4月に現在の厚別区厚別町山本に移転しました。現在は、本校のほかにも共栄分校（北広島市）と高等部生徒対象の白桜高等学園（白石区東米里）を分校として有しています。また、訪問教育を実施しており、障がいのある児童生徒の幅広い教育的ニーズに対応しております。

本校については、令和8年度は小学部と中学部の在籍教育と訪問教育を合わせて193名の児童生徒が学んでいます。児童生徒は、地元の厚別区をはじめとして市内各区から通学しており、スクールバスも運行しています。

本校では、「一人一人のよさ・可能性を最大限に伸ばし、健やかで主体的に学び続ける児童生徒が育つ学校」をグループミッション（学校教育目標）として掲げ、学校・家庭・地域の共育による児童生徒の確かな学びと社会参加・自立を支える指導に力を入れ、社会生活に向けた生きる力の育成に取り組んでいます。

児童生徒一人一人のよさ・可能性を最大限に伸ばし、健やかで主体的に学び続けるためには、学校内（学校教育）での学習活動だけではなく、保護者（家庭教育）、関係機関等の皆様と地域の皆様（社会教育）とともに児童生徒が育つ様々な学習場面（環境）の充実を進め、学校教育で身に付けた力を生かしていくことが大切です。

現在のきびしい社会状況やそれに伴う学校教育の変化も受け入れながら、今まで本校で大切にしてきたことと今の時代に応じたよさ、そしてこれからの未来を創造した教育活動の展開が期待されます。

児童生徒は一日一日、一つ一つの学びにチャレンジしています。そのチャレンジを支え、児童生徒が学び経験したこと、体験したことなどが一人一人の成長につながるよう、教職員はもとより、学校、家庭、地域、関係機関の皆様と連携・協力して、児童生徒にとって有意義で安心・安全で充実した学校生活となるよう「共育」して参ります。

児童生徒や保護者の皆様が「札幌養護学校に入学してよかった」また、地域の皆様が「札幌養護学校がこの地域にあってよかった」と思っただけですよう教職員一同精一杯取り組んで参ります。

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様、本校の教育活動に一層の御理解と御協力、温かい御支援のほど、よろしくお願いいたします。

ホームページでは、本校の教育内容などを紹介しております。なお、札幌養護学校白桜高等学園と札幌養護学校共栄分校につきましても、開設しておりますので、ぜひ御覧ください。



校長 上村 喜明

令和8年4月

### 【 Group mission (学校教育目標) 】

一人一人のよさ・可能性を最大限に伸ばし、  
健やかで主体的に学び続ける児童生徒が育つ学校

### 【 Group vision 】

学校・家庭・地域の共育による児童生徒の確かな学びと

社会参加・自立を支える学校に

#### ① 学びの整理 (教育課程)

- 人ならではの身体性<sup>※</sup>や実体験の重要性を意識した5つ<sup>※</sup>の感覚で感じる授業、主体的に考えることができる授業【子どもが主語の教育実践】
- 学部間や社会等とのつながりを見据えた教育内容の再整理



3つの重点

#### ② PTC<sup>※</sup>の協力・連携

- 児童生徒の将来を見据えた学校教育・家庭教育・社会(地域)教育それぞれの役割による協力・連携・相談
- 地域の資源を活用した教育活動の充実
- コラボレーション教育活動の推進・充実

#### ③ 社会貢献・社会参加

- 児童生徒が褒められる(認められる)、役に立つ、必要とされる授業内容と社会(地域)との繋がり
- 社会の一員としての社会貢献、社会参加の深化
- 学校⇄地域 フィードバックによる改善

※教職員(Teachers)、保護者(Parents)、地域(Community)

※中期学校経営計画(2024→2026→2028)

教育の基本方針

経営の基本方針